

# 市長が販路開拓団長として公費で海外視察 羽村市の参加企業はゼロ それでも行くのですか？

市長はいつ・どこに行くのですか？

11月4日から11月9日までの6日間です。視察の場所は中国・上海で、工業団地の視察と現地企業とのマッチング会です。

目的は何ですか？

海外展開販路拡大のためです。

市民の税金はいくら使われますか？

市長が使う税金は、

往復航空運賃と宿泊費で	120,000 円
(宿泊は5泊とも上海賓館の予定)	
夕食代(5日分)で	30,000 円
通訳旅費、移動バスで	30,000 円
支度料	86,240 円
羽村～成田往復	9,000 円
計	275,240 円

市の担当が使う税金は、

往復航空運賃と宿泊費で	120,000 円
夕食代(5日分)で	30,000 円
通訳旅費、移動バスで	30,000 円
支度料	66,030 円
羽村～成田	9,000 円
計	255,030 円

二人あわせて、530,270 円となります

支度料とは何ですか？

「国家公務員の旅費規定に従った」とのことです。(羽村市長等の給料等に関する条例に定められています。)

視察に参加する企業はどこですか？

K社 青梅市 機械部品加工業

D社 青梅市 医療器具製造販売

H社 川越市 食料品製造販売

I社 豊島区 金属加工業

T社 東村山市 光ファイバー

ケーブル関連部品製造販売

T K社 品川区 工業用金網製造販売

以上6社です。(10月6日現在)

羽村の企業は参加しないのですか？

10月6日現在、参加はゼロです。



市長の突然の海外視察はあるけれど

市民への生活支援は全くなし(9月定例議会の補正予算)

羽村市内には高齢者が入所している施設が数カ所あります。入所しているお年よりはほとんど羽村市民です。施設では、食料品の高騰で質の高い食事の提供が難しくなっています。食材が値上がりしたからといって入所者に転嫁することが出来ないからです。もし転嫁されたら入所者も困るのですが、ですから全額施設の負担になります。ある施設は食事は全て委託していると言います。一人当たり30円の値上げをしてほしいと業者から言われています。「食事はみなさん一番の楽しみですから簡単に質は落とせません」と関係者は語っています。さらに、今後おむつの値上げが必至だと言います。ガソリンが上がったからだそうです。一枚2円の値上がりは何千枚も使うので一ヶ月数万円の負担増になるそうです。これも、入所者に転嫁出来ません。全部施設負担です。「施設の努力だけでは限界です」と事態は大変深刻です。つぎに市内にあるグループホームです。去年までの食事代は一ヶ月17万円程度でした。ところが今年にはいつから特に4月からは急に上がっていると言います。4月は35万円、5月は24万円、6月は25万円、7月は18万円となっていて7月に下がった原因は、野菜をもらう、米の質を落としたからだそうです。ガソリン代は今までは1万2千円だったのが今年の5月は2万4千円、6月は2万5千円、7月は2万5千円と2倍になったと言います。市長は「家計、企業収益ともに停滞する状況に入っていると切実に感じております」といいながら、市民の生活を支援する具体策には全く取り組んでいません。

## 無料法律相談のお知らせ

10月21日(火)午後1時30分から  
場所は「日本共産党羽村市委員会」事務所  
です。弁護士が相談にあたります。  
予約が必要となります。

中原まさゆき 電話 554-1163  
市川 えい子 電話 554-1140  
鈴木 たくや 電話 080-1058-9450



2008年10月12日 912  
発行 羽村民報編集委員会  
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市議団のホームページ  
<http://www.jcphamura.org>  
事務所 電話579-2132 FAX579-2106